

学園だより

社会福祉法人 至誠学園立川
至誠学園

平成21年8月1日

〒190-0022 東京都立川市錦町6-26-15

TEL 042-524-2601 FAX 042-524-2367

<http://www.shiseigakuen.org/> Email: info@shisei.org

発行 児童事業部 広報委員会



新グループホーム 「並木の家」

高齢者福祉と児童福祉の領域で、ともに先駆的な事業展開を行ってきた法人ならではの新たな試みである新しいグループホーム「並木の家」が、4月から法人の100周年事業に相応しい記念碑的な事業として始まりました。

至誠ホーム「ミンナ」の皆様との交流も、ウッドデッキでの語らいやピアノを弾かせてもらったりなど少しずつ始まっています。この世代間交流は、毎月「ミンナ」の担当者と児童のグループホームの担当者と話し合いをしながら、運営しています。

あたりまえの近所づきあいから始められる様に、そして、ここならではの取り組みをとおして、子ども達の心が健やかに育っていくことを期待したいと思います。

子ども達の感想

- ・なみきのおうち ありがとう すごくきれいで すみごちがよくて すごくいいおうち だいじにします。えんちょうせんせいも とまりにきてね。
- ・「ミンナの畑手伝ってきたよ。並木の家のところも作ってくれたの。毎日、お水をあげに行くんだ。」

進化する至誠学園—様々な方向からの試み

日頃は、至誠学園運営のために変わらぬお力添えを賜り、皆様に感謝を申し上げます。

この「学園だより」は、平成21年度からの法人組織の変更に伴い、所属する至誠学園および新たに創設される「仮称第2至誠学園」として建設が進んでいる「至誠大地の家」「まことくらぶ」の三つの施設の運営についてお知らせするものとなりました。

法人では、専門性と地域社会のニーズに合わせた事業に取り組んでいますが、今年度より高齢事業本部、保育事業本部、児童事業本部の三つの部門に編成を整えています。先般の理事会において「至誠大地の家」と命名され、施設長として高橋誠一郎さんが任命されました。「至誠大地の家」の建設も終盤に入り、10月1日開所を目途に急ピッチで作業が進められています。この施設は、四つのユニットによる子ども達の生活、地域の子育て支援、家族機能回復のための支援、子育てに関わるスタッフ養成の四つの機能を柱に据えながら、相互に連携し合う新しい時代の児童養護施設の形態がとられ、既存の至

誠学園およびグループホームと一体的に運営していきます。

今、児童養護は、児童虐待等の重篤化したケースや課題を抱えた家庭に対する支援を求められております。先駆的な施設として学園では、平成17年度より「東京都家庭的養護推進モデル事業」として試行を重ねてまいりましたが、その結果、今年度、東京都では「東京都専門機能強化型施設」として施策化され、29の施設で実施されることとなりました。また学園では、子どもの権利擁護として、子ども達が自らの内なる力を充分発揮できるような様々なプログラム(音楽、ダンス、絵画など)を実施し、学園内だけのかかわりではなく、地域社会の皆様のご協力を得て展開をしています。また、子ども達を取り巻く内外の環境から、安心安全な生活を保障することも大きな目標です。そして、国の施策に取り組むだけでなく、子どもたちの発言を代弁し提案していくことも大切な役割と考えております。

皆様方のお力添えを頂き「至誠大地の家」の整備も進んでおりますが、財源的にはまだ不足しており、広く皆様方のご協力を頂ければ幸いに思います。

平成20年度事業報告<児童事業本部・至誠学園・まことくらぶ>

■児童事業本部

法人の事業本部の再編成に伴い、児童事業本部となり、新たに計画された東京都の補助事業として新しい養護施設「至誠大地の家」の建設に着手しました。資金面では、企業関係者の皆様のご寄附を東京都共同募金会の指定寄附金としていただき、用地購入のための借入金の返済が完了いたしました。改めてお礼申し上げます。また、グループホーム並木の家の建築費用3千万円は銀行借り入れと自己資金、備品については昭和会館様のご助成によるものです。重ねてお礼申し上げます。

*本部会計収支決算			
収入の部	収入計	支出の部	支出計
補助金	3,976,000	運営費	13,649,219
寄附金	153,256,169	借入金返済	154,471,464
積立預金取崩	104,999,272	固定資産取得	387,600
法人内資金移動	10,000,000	法人内資金移動	107,921,402
その他	11,225,284	当期繰越金	7,027,040
収入計	283,456,725	支出計	283,456,725

■至誠学園

平成20年度は以下、5つのポイントを重点目標として実施してまいりました。

1. 小規模な家庭的養護環境の推進
本園ユニットにおいて、2ヶ所目となる小規模グループケアの指定を受け、国及び東京都の掲げる社会的養護に関する基本方針に則り、家庭サイズに近い生活環境作りをすすめてきました。
2. 専門機能強化型施設としての実践活動
東京都からの指定を受け、職員の個別ケア能力の向上や児童への治療的専門的ケアの充実など、専門機能(精神科医の関与や心理相談室機能の拡充など)の強化を推進しました。
3. 子どもの権利擁護を機軸とした支援の強化
子どもの主体性を尊重し、一人一人に適した養育環境の創造や様々なアクティビティ・プログラムを展開し、子どもへのエンパワーメント事業について推進してきました。
4. 「至誠大地の家」建設開始と準備委員会の始動
11月から本格的に建設工事が開始され、並行して、予定職員による準備委員会が始まり、事業内容の細部にいたる具体的検討が始まりました。
5. 小規模グループケア地域型ホーム「並木の家」
国分寺市に新設された高齢者施設「至誠ホームミンナ」の敷地の一角に、北米仕様の素敵なグループホーム「並木の家」の建設が完了しました。高齢者福祉とのコラボレーションで新たな効果を見出すべく新年度にスタートとなります。

*施設会計収支決算			
収入の部	収入計	支出の部	支出計
事務費	330,140,901	事務費	312,095,5
国	205,660,494	人件費	265,422,7
東京都、立川市	124,480,407	事務費	46,672,8
事業費	78,507,657	事業費	74,115,7
国	60,229,357	食費	29,093,8
東京都	18,278,300	教育費	12,864,2
		行事/余暇活動	6,782,5
		光熱費	13,366,9
寄附金	7,284,711	他生活費	12,008,1
借入金利息補助	1,980,990	借入金返済	15,480,9
GH建設	30,000,000	GH建設	36,367,5
借入金	30,000,000	建物	35,218,1
		構築物	570,2
		備品	579,2
積立預金取崩	5,000,000	積立預金積立	20,000,0
その他	6,516,406	固定資産取得	836,6
		当期繰越金	534,1
収入計	459,430,665	支出計	459,430,6

■まことくらぶ

東京都障害者自立支援基盤整備事業の補助を頂き、2ヶ年事業で至誠学園レジデンスけやき一階部分の改修工事を行ない、6月に無事事業完了し移転しました。

- チャレンジスリーコース(就労移行支援プログラム)の3名のうち2名が立川市就労支援事業との連携で、一般就労しました。
- 授産事業収入はショップがオープンしたこともあり前年比30%増となりました。

まことくらぶ 収支決算

収入		支出	
授産事業収入	7,194,634	授産事業支出	9,686,0
福祉事業収入	28,711,816	人件費	18,413,7
		事務費	3,322,9
		事業費	1,734,1
		退職共済預け金	180,7
施設整備等	18,400,000	施設整備等	22,747,8
収入計	54,306,450	支出計	56,085,4

平成 21 年度事業計画<児童事業本部・至誠学園・まことくらぶ>

■児童事業本部

センチュリープロジェクトの完成として、8月末の完成を目指し「至誠大地の家」の施設整備を進めます。開設は10月1日、児童定員は30名、児童福祉法による児童養護施設で、設計は竹中工務店設計部、施工は入札により(株)ナカノフドー建設です。

■至誠学園

今年度重点目標は、1.児童福祉法改正の精神に沿った児童の権利擁護の更なる推進と充実 2.小規模グループケア地域型ホーム「並木の家」の開設、運営 3.専門機能強化型施設としての実践の積み上げと検証 4.「至誠大地の家」との連携の構築。 5.職員養成の更なる推進。 の5つを基本とします。

児童定員は82名(本園34名、分園36名、地域小規模児童養護施設12名)で、さらに幼児保育モンテッソーリ立川子どもの家、補助事業の立川市ショートステイ事業(定員2名)、日野市ショートステイ事業(定員4名)があります。職員は、保育士・児童指導員、治療指導員、精神科医、心理、ファミリーソーシャルワーカー、嘱託医、栄養士、調理員、事務員、施設長となっています。

(H21年4月現在)

■まことくらぶ

本年度は障害者自立支援法への移行(10月)を見据えて、1.利用者の権利擁護を基軸としたプログラムの展開 2.地域の各機関とのネットワーク作り 3.職員の専門性の向上を図る取り組み 4.運営基盤の充実を目標としています。

収入の部		支出の部	
収入 計		支出 計	
寄附金	17,700,000	運営費	8,420,000
積立預金取崩	100,000,000	法人内資金移動	95,061,000
その他	10,585,000	予備費	24,804,000
収入 計	128,285,000	支出 計	128,285,000

収入の部		支出の部	
収入 計		支出 計	
事務費	337,068,000	事務費	323,388,000
国	207,614,000	人件費	276,023,000
東京都	129,454,000	事務費	47,365,000
事業費	77,059,000	事業費	75,790,000
国	58,659,000	食費	29,208,000
東京都	18,400,000	教育費	15,696,000
		行事/余暇活動	7,146,000
		光熱費	11,802,000
寄附金	800,000	他生活費	11,938,000
借入金利息補助	1,761,000	借入金返済	15,261,000
その他	5,120,000	固定資産取得	585,000
		予備費	6,784,000
収入 計	421,808,000	支出 計	421,808,000

まことくらぶ収支予算

収入		支出	
授産事業収入	7,000,000	授産事業支出	7,000,000
福祉事業収入	25,535,000	人件費	21,690,000
		事務費	1,990,000
		事業費	1,500,000
		退職共済預け金	195,000
		予備費	160,000
収入計	32,535,000	支出計	32,535,000

至誠大地の家「子どもの生活を考える委員会」

新施設の立ち上げ準備として、7名のメンバーが3月から毎週金曜日に集まり、子どもたちの生活や職員の役割分担、手順書の作成などの議論を重ね、新しい施設のイメージを具体化する作業をしています。

まずは、二葉乳児院、ナザレットの家乳児院、法人内の近隣の至誠保育園、小百合保育園、今年度4月に開設した、成育しせい保育園を見学させていただき、乳児を預かることや家族支援、モンテッソーリ教育について新規開設への準備について勉強させていただきました。

また、真如苑様による「Shinjo プロジェクト」助成をいただき、北海道視察を行うことができましたことを改めて感謝申し上げます。ここでは、精神障害をお持ちの方により昆布等の販売、カフェの運営をされている「浦河ベテルの家」、不登校や自閉症を抱えた若者が酪農加工に従事している「共働学舎新得農場」と、児童養護の枠を超えた大きな視点から、共に社会に生きること、家族とともに子どもを育てること、人間の持てる力を発揮することなど、発想の転換をする機会をいただき、開設へ向け大きく前進することのできた素晴らしい3日間となりました。



さらに、今春学校を卒業し、10月まで就職を待っていたいる至誠大地の家の職員のメンバーとも月に1回集まり施設の理解や自己理解、チームワークについての研修を行っています。7月19日には至誠大地の家1階ホールと保育室部分に至誠学園絵画教室の竹中先生のご指導により、至誠学園の子どもたちとアートワークを行い、壁面に児童のシャドウシルエットを鮮やかに描きました。

今後は施設認可申請や備品の調達、また既存の至誠学園との連携や児童の入所調整といった運営面など、10月1日の開設に向けて準備を進めていきます。

子どもたちの生活から 4月～7月の様子

園遊会を開催

今年是新園舎建設工事中のため、毎年恒例のガーデンパーティを開催するスペースがないこともあり、5月2日に日頃学園の子ども達がお世話になっている方々をお迎えして、感謝の集いと新しい学園のセンチュリー計画の説明会と工事現場見学会を行いました。

子どもたちの行事から抜粋

■ダブルダッチ世界チャンピオンカプリオールさん来園

7月15日、子どもたちの目の前で素晴らしい妙技を披露してくれました。今後も定期的に活動予定です。(写真は左下)

■いなげやさん料理コンテスト

4月19日、子ども達が毎年とても楽しみにしている「いなげや労働組合」さん主催の料理コンテストがありました。自分たちで考えた献立をお店に買い物し、ホームごとでいなげやさんと一緒にお料理作り、そしてコンテストに臨みました。美味しいお料理ができました。



写真説明 左上：開会式の学園長、歌指導の印牧ご夫妻
中左：法政大学チアリーダーの皆様
中右：司厨士協会の皆様による氷の彫刻
左下：センチュリー計画説明 右下：建設中の至誠大地の家



■子どもの日 美味しいケーキと楽しいゲーム

5月5日のこどもの日は、毎年、子ども達が思いっきり遊べるような計画を立てています。今年も、河西様と立川間税会の皆さんが特注のケーキを持ってお祝いに来てくださいました。また毎月2回遊びに来てくれている横田ベースの皆さんもいらっしゃって一緒にゲームを楽しんだり、とても賑やかな会となりました。

■アートワークショップ

子供地球基金の皆さんのお力添えで、クロワチアの子ども達と数年前より絵画を通して交流しています。今年も6月6日、ゴールドマン・サックス証券(株)の皆様のご協力、力作を描いて送りました。

■ゴールドマン・サックス証券の方々と野球、フットサル

立川市営野球場にて、学園中高生チームとゴールドマン・サックス証券チームと野球大会をし、終了後は川原でランチを楽しみました。またアディダスフットサルパークにて学園児童チームとゴールドマン・サックス証券チームとでフットサルも楽しみました。



■学園のアクティビティ活動

- 絵画教室 竹中潔先生 月1回
- 音楽教室 印牧由規子先生 週2回
- 創作ダンス 秦野句子先生 週1回
- 週末のバンド活動 卒園生の指導 週1回
- その他 各種スポーツ活動(学園職員の指導)



■ドッジボール部、バレーボール部が東京都児童福祉施設スポーツ大会「江戸っ子杯」に参加 (7/31)

ここ数年、ベスト8止まりと悔しい思いをしていますので、子ども達も職員も“今年こそ優勝!”の目標を掲げ、ドッジボール部は小学生男女24人が連日の猛暑の中、学園のグラウンドで汗を流して練習しました。その結果、ドッジボール部は悔しいベスト8、バレーボール部は、残念ながら来年に期待することになりました。

**ライオンズクラブによる
ユースエクスチェンジプログラム**

立川ライオンズクラブを通じて、ライオンズクラブ国際協会の組織が実施するホームステイによる青少年の相互交換事業〔YOUTH EXCHANGE PROGRAM(通称:YE)〕の交流です。学園の高校生が海外に、そして海外から2名をお迎えしました。

3/29~4/10 タイからポイさん

タイからやってきたポイさんを学園に迎えました。めじろホームの子ども達がホスト役になり、英語と日本語での会話で懸命にコミュニケーションをとりながら、一緒に楽しい時間を過ごしました。(写真左 お茶室で茶道を体験するポイさん)



7/12~8/16 イスラエルからシルさん

イスラエルから20歳の女性シル(Cill)さん。3年間の兵役を終了し来日しました。日本が大好きで日本語も堪能で子ども達にも大人気。早速、原宿にお買い物に出かけました。(写真右 ゆかた姿のシルさんと学園長ご夫妻)

7/26~8/30 アメリカへRさん

学園の高2のRさんが、米国・カリフォルニア州のライオンズクラブのメンバー宅に1ヶ月ホームステイします。生活を通して、多くのことを学んでひと回りもふた回りも成長して帰国してくるのを期待しています。(立川ライオンズクラブ、てくてく会の援助によります)

第7回至誠福祉セミナーの開催

7月18日、至誠学園ホールで開催され、児童事業本部を代表して、ワークセンターまことくらぶの吉本達郎さんが「元気に挨拶しよう」というテーマで、法人内外約140名の皆さん前で、発表をしました。(発表者の皆様)



**第6ブロック学習会
—村瀬嘉代子先生をお招きして**

6月2日(火)午前10時より至誠学園ホールにて、大正大学客員教授、北翔大学客員教授、日本臨床心理士会会長の村瀬嘉代子先生を講師としてお迎えし、他施設、里親さん、学園職員合わせ100名余り出席のもとで、兎澤職員の発表による事例を通して、先生から子どもの情緒について、施設の養育のあり方についてのお話をお聞きすることができました。



■ 苦情解決委員会

—ポスターをリニューアル

メンバーの皆様の写真、肩書き、連絡先も記載しましたので、身近に子ども達がメンバーの皆さんのことを感じてくれたらと思います。

木津川迪洽さん(弁護士) 名取種子さん(立川市人権擁護委員) 石川親治さん(元立川市立第三中学校教諭)

卒園生による友の会の活動

工務店を営んでいる会長の真壁一郎さんは、学園の自立できない中学生に自らの経験を語りながら、大工仕事を教えてくれています。一緒に設計や材料仕入れから始め、立派な犬小屋が完成しました。佐藤浩士さんは建設工事の会社を営んでいますが、学園の門扉がゆがんでいるのに気がつき、仕事の合間を縫って修繕にきてくれました。ありがとうございます。



■ 卒園生情報

- 大塚清人さんが瑞宝単光章を授与されました。7月26日に当時の同級生が集まりお祝いの会を開きました。
- 伊藤洋之介さんが2006年9月に米国テキサス州フォートワースで開催されたウエイクボード世界大会ベテランの部に出場し、見事世界チャンピオンに。
- 高橋一紀さんは、タマホームの現在放送されている木村拓哉出演のテレビコマーシャルで流れているギター演奏をされています。

後援会のお知らせ

平成 20 年度事業報告

三田会長の会長代行として尾崎豊理事がおつとめ下さっていましたが、11月に急逝され残念なことでありました。新理事長の就任を祝う会を主催されるなど、学園のために後援会活動にご尽力下さいました。

■ 後援会役員 (敬称略)

顧問 土井智生、青木徳祐 会長 三田鶴吉
 会長代行 尾崎豊 副会長 西村よね、佐々木信孝
 理事 青木徳祐、浅見義明、石井謙任、岩崎浩三、尾崎豊、小山廣重、杉田英一、名取種子、西村よね、長谷川照代、深沢よし子、丸本大、矢野雄一、高橋利一、高橋久雄 会計 渡辺道子 監事 緒形駒之助、佐々木信孝
 事務局 林啓子、高橋久美子

※6月14日役員会において役員人事が変更されました。

■ 後援会活動

1. 資金助成 至誠学園へ170万円を園舎建設返済財源として寄贈
2. 卒園生3名へのお祝い金
3. その他 学園のお母さんを偲ぶ会、ガーデンパーティ、第1回役員会、二学期スタートの会参加、高橋利一新理事長を励ます会(後援会主催)、法人100周年シンポジウム、運動会、(仮称)第二至誠学園建設工事入札、地鎮祭、尾崎豊氏告別式、クリスマス会、第2回役員会、卒園式

<平成 20 年度決算>

	項目	予算	決算
収	繰越金	285,574	285,574
	後援会会費	2,300,000	1,674,000
	利息		643
入	合計	2,585,574	1,960,217

	項目	予算	決算
支 出	学園寄附金	2,300,000	1,700,000
	卒園生 祝い金	20,000	60,000
	郵便振替料金	30,000	30,940
	切手・領収書代	30,000	20,000
	印刷・製本費	100,000	0
	雑費	50,000	21,536
	予備費	55,574	0
	次年度繰越金		127,741
	合計	2,585,574	1,960,217

毎年、多くの方々から後援会費をご送金いただき心より感謝を申し上げます。今後とも変わらぬご支援を、どうぞ宜しくお願いいたします。

(至誠学園後援会会長 三田鶴吉)

平成 21 年度事業計画

本年度役員会にて以下のように決定されました。

1. 会員の増強
2. 卒園生への祝い金贈呈 (5名分)
3. 学園諸行事への協力 (園遊会の開催、バザー (年1回)
 - ・ 虐待シンポジウムの後援 (11/26 市民会館小ホール)
4. 後援会だよりの発行

■ 後援会役員 (敬称略)

顧問 青木徳祐、岩崎浩三、土井智生、丸本大、矢野雄一
 会長 三田鶴吉、会長代行 佐々木信孝、
 副会長 浅見義明、西村よね、
 理事 石井謙任、小川庄二、小山廣重、高橋利一、徳井美千代、
 名取種子、西村一夫、長谷川照代、師岡恵美子
 監査 杉田英一、高橋久雄 会計 渡辺道子
 事務局 高橋久美子、林啓子

<平成 21 年度予算>

	項目	予算
収	繰越金	127,741
	後援会会費	2,500,000
入	合計	2,627,741

	項目	予算
支 出	学園寄附金	2,000,000
	卒園生 祝い金	100,000
	郵便振替料金	30,000
	切手・領収書代	30,000
	印刷・製本費	50,000
	雑費	50,000
	予備費	367,741
	合計	2,627,741

また、新規のご入会も随時受け付けております。子どもたちのために、あたたかいご支援いただけますようご入会をお願いいたします。すでにご入金いただいている方には、重ねてのご案内を失礼いたします

会費の納入は下記の口座にて承ります。

<郵便振替口座>

口座番号 00140-2-356681

口座名 至誠学園後援会

<銀行口座>

中央三井信託銀行立川支店

口座番号 普通 7902588

口座名 至誠学園後援会

<連絡先>

至誠学園後援会事務局

立川市錦町 6-26-15(至誠学園) TEL 042-524-2601

高橋利一統括学園長の近況

今春、日社大を経て、大学と法人業務の忙しい中ででしたが、無事に法政大学現代福祉学部を定年退職しました。先般、法政大学名誉教授の稱號を授与されました。今後は法人や学園の経営やスーパーバイズ等に関わっていきます。

先日、全国社会福祉施設士会のシンポジウムにメンバーとして参加した折、日本社会事業大学前学長の京極先生がコーディネーターを務められており、壇上でのやり取りが久しぶりで、日社大教授であった当時の教授会を思い出しました。

幼い被虐待の子ども達の早期対応を目的とした新しい施設の「至誠大地の家」の竣工が楽しみであります。借入金の返済など新たな課題ができました。元気でなければと、子ども達と生活する中に、少しの気遣いを大切にしながら、毎日を過ごしています。

■ 実習を終了して

学習経験をするには、歳をとりすぎた年齢(65歳)の私を受け入れていただきありがとうございました。(中略) 少年期の子どもにとって、素晴らしい人、環境の中で生活していることがわかり、何か心の中でホットするものを感じた日々でした。多分、この子どもたちの中でいつの日か気づきができたとき、人生の礎は、至誠学園にあったと感じると思います。それだけ素晴らしい学園だと思います。ありがとうございました。

これから主な行事予定

- 9/28 至誠大地の家 落成式
- 11/8 施設文化祭 明治神宮会館(原宿)にて
- 11/14 七五三
- 11/26 児童虐待防止月間セミナー 立川市民会館にて
- 11/29 ウィンターバザー

■ グループホーム日野式番館 お引越し

新たな借家を得て、この5月に移転しました。駐車場や庭もあり、生活がより快適になりました。幸い、旧式番館と同じ学校区でしたので、子どもたちは転校することなく、安定した生活を送っています。



新しいグループホーム式番館

職員表彰 5/30 理事会において
法人永年表彰 15年

保育士 M.K.さん・保育士 O.M.さん

法人の永年勤続表彰を受け、賞状とメダルをいただきました。改めて学園長先生、事務局長、施設長先生をはじめ、職員の方々の支えがあったからこそ、これだけの年数子どもたちと関わることができたのだと思っています。

今後どうぞよろしくお願ひ致します。

**児童事業本部新任職員の皆さん
どうぞよろしくお願ひします**



本年度は、新施設「至誠大地の家」が10月に開設予定のため、その準備スタッフも加わったので、多くのメンバーが採用されました。

写真は新任職員と統括学園長。

今年度の職員研修の予定

- 新人研修:3月に集中的に実施しました。
- 金子保先生(淑徳大学)
「至誠学園の理念とケアワーク」をテーマとして、新入職員、2年目職員を中心に実施
- 西澤哲先生(山梨県立大学)
「入所児童の心理理解と援助」をテーマに実施
- 皆川邦直先生(法政大学)
困難事例のケースカンファレンスをテーマに実施
- これからも、小野純平先生(法政大学)、学園長など講師をお願いして計画しています。

東京都専門機能強化型施設としての報告会



学園が平成17年度東京都家庭的養護推進モデル事業の指定を受け、その実施と検証を毎年積み重ねてきた結果、今年度から

東京都で施策化することになり、学園の実践報告を4/22に行いました。他施設職員、里親、行政、学園職員で合計110名余で情報交換することができました。

編集後記

建設中のシートがはずされ「至誠大地の家」の概観がみえてきました。そして夏休み子ども達は、皆様の応援による様々な活動を通して思い出づくりをしています。

新しい児童養護施設「至誠大地の家」にご期待下さい。